

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名） **Couplant B**
 供給者 オリンパス株式会社
 住所 〒163-0914 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス
 電話番号 0120-580414
 FAX 03-6901-4251
 緊急連絡電話番号 ケムトレック（Chemtrec）
 米国：1-800-424-9300、国際：+1 703-527-3887

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 接触媒質。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 GHS分類基準に該当しない。
 健康に対する有害性 特定標的臓器毒性，単回ばく露 区分3 気道刺激性
 環境に対する有害性 GHS分類基準に該当しない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

呼吸器への刺激のおそれ。

注意書き

安全対策

ミスト／蒸気の吸入を避けること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器は、地域／地方／国／国際法律に従って処理する。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。 呼吸器への刺激のおそれ。

非常事態の概要

呼吸器官に刺激を引き起こすことがある。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
グリセリン	56-81-5	2-242	-	100

化学式

C3-H8-O3 (56-81-5)

組成情報

成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである

4. 応急措置

吸入した場合

呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

石けんと水で洗い流す。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

眼に入った場合

水で洗う。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口を十分にゆすぐ。 症状が現れたら医師の手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。 呼吸器への刺激のおそれ。

応急措置をする者の保護

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。

医師に対する特別な注意事項

症状にあった治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

周辺の物質の火災に適した消火剤を使う。

使ってはならない消火剤

知見なし。

火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法
消火を行う者の保護
一般的な火災の危険性
特定の消火方法

加熱および火災により有害な蒸気／ガスが生成されることがある。
危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
火災にまきこまれた場合は燃焼する。
通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置

十分な換気を確保する。長時間の接触を避ける。関係者以外の立ち入りを禁止する。流出した場合、床や表面が滑りやすいので注意する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。

環境に対する注意事項

下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。清掃後に、水で微量の残留物を洗い流す。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項

長時間の接触を避ける。ミスト／蒸気の吸入を避けること。適切な保護具を着用する。産業衛生に気を配る。

接触回避

強酸化剤。

適切な衛生対策

本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

保管

安全な保管条件

元の容器に入れてフタを閉め、17.7°C (64 ° F)から54.4°C (130 ° F)の温度で保管する。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

安全な容器包装材料

元の容器に密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露限界値

日本産業衛生学会－許容濃度
物質

タイプ

数値

形状

グリセリン (CAS 56-81-5)

TWA

8 mg/m³

総粉塵

2 mg/m³

呼吸性粉塵

設備対策

適切な全体換気（換気回数1時間に10回程度）を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。

保護具

呼吸器の保護具

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

長時間または繰り返して皮膚に接触する場合は適切な防護手袋を使用する。適切な手袋は、手袋の専門業者に推奨してもらうこともできる。

目の保護具

接触の可能性がある場合、サイドシールドのついた安全メガネが望ましい。洗眼装置の使用を推奨する。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

液体。

形状

粘稠性。

色

透明。

臭い

軽度。

pH

データなし。

融点・凝固点

19.85 ° C (67.73 ° F)

沸点、初留点及び沸騰範囲

290 ° C (554 ° F)

引火点

198.9 ° C (390.0 ° F) 密閉式

燃焼性（固体、ガス）

該当しない。

燃焼又は爆発範囲

燃焼又は爆発範囲－下限(%)

2.6

燃焼又は爆発範囲－上限(%)

11.3

蒸気圧

< 0.13 kPa

蒸気密度

3.1 (空気 = 1)

蒸発速度

> 1 (エーテル (無水) =1)

比重

1.4 - 1.6

溶解度

水溶性

水に可溶。

n-オクタノール／水分配係数	-1.76
自然発火温度（発火点）	データなし。
分解温度	データなし。
粘度（粘性率）	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
分子式	C3-H8-O3
分子量	92.09 g/mol
酸化能力	酸化性でない。

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。 吸湿性。
化学安定度	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	過剰加熱。 発火源。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	吸湿性

11. 有害性情報

急性毒性 急性毒性であるとは予想されない。

製品	種	試験結果
グリセリン (CAS 56-81-5)		
急性 経口		
LD50	ラット	12600 mg/kg
急性 経皮		
LD50	ウサギ	> 10 g/kg
皮膚腐食性/刺激性	皮膚接触による無毒性量があると思われる。	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	直接目に接触すると一時的に刺激を起こすことがある。	
呼吸器または皮膚の感作		
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。	
皮膚感作性	この製品は、皮膚感作を引き起こすとは思われない。	
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に関して、変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
発がん性	本製品は、IARC、ACGIH、NTPおよびOSHAにより発がん性であるとは考えられていない。	
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。	
特定標的臓器毒性（単回暴露）	呼吸器への刺激のおそれ。	
特定標的臓器毒性（反復暴露）	入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	
吸引性呼吸器有害性	吸引性呼吸器有害性でない。	

12. 環境影響情報

環境影響データ 製品	種	試験結果
グリセリン (CAS 56-81-5)		
水生 魚類	LC50 魚類	54000 mg/l, 96 時間
生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないと限らない。	
残留性/分解性	この製品は速やかに生分解される。	
生体蓄積性	この製品は生体蓄積性ではない。	
土壌中の移動性	本製品のデータはない。	
オゾン層への有害性	データなし。	
他の有害影響	成分からのその他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、予想されない。	

13. 廃棄上の注意

該当する全ての規制に従って廃棄する。

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78条約の附属書II及びIBCコードによるバルク輸送

該当しない。

国内規制

国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

1, 2, 3-プロパントリオール

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法

第四類第三石油類(水溶性液体) 危険等級Ⅲ

船舶安全法・危規則

該当せず。

航空法・施行規則

該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

海洋汚染防止法

グリセリン

Z類

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

この安全データシートは、日本工業規格JIS Z 7253:2012に沿って作成した。 オリンパス は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。 シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。